

第2回 大井町学校部活動地域移行推進協議会 議事録

日時 令和5年11月9日15時～

場所 大井町役場201会議室

出席者 後段のとおり

司会 有馬生涯学習課長

1 開会

確認事項

○ 会議録作成のため議事の録音をする。

会議は原則として公開とし、日程はホームページにて公表する。

会議録はホームページで公開するが非公開とすることが望ましい案件については委員に諮った上で非公開とする。各発言者の氏名は公開しない。

2 教育長あいさつ

3 議事

(1) 部活動の地域移行に関するアンケート調査結果（学校）について

【資料1-1】湘光中学校の学校部活動の地域移行に関するアンケート

【資料1-2】中学校の学校部活動の地域移行に関するアンケート

【資料1-3】部活動の地域移行に関するアンケート調査結果（学校）

により説明（矢吹教育総務課長）

議長： 質疑・意見があればお願いします。

(質疑等)

委員： ボランティアの定義を（アンケートに）記載すれば、より正確な回答が得られたのかなと思います。ボランティアを無報酬と捉えて迷っているような回答がありましたので。

教育長： ボランティアはあくまでもボランティアとして捉えていますし、兼職兼業については応分の報酬をお支払いするという事で考えています。これが国の動きと理解しています。中学校の先生方のボランティアというのは、今までの延長線上にあるものと理解していただいているのではと考えます。

委員御指摘の通り、この辺りを丁寧に説明すれば回答も違ったかなという感もありますが、今までの流れを基本にすると、ごく少額ですが手当が付いている状況がありますので、移行期においては同様に思われるのかなと考えます。

議長： 他に無いようですので、次の議題を説明願います。

(2) 今後の地域移行の進め方について

【資料2-1】アンケートによる部活動指導意向のまとめ

【資料2-2】町内活動中のスポーツ団体について

により説明（資料2-1 矢吹教育総務課長 資料2-2 生涯学習課 植松主幹）

議長： 質疑・意見があればお願いします。特に無いようですので議題3の説明をお願いします。

(3) その他

【資料3】公立中学校における休日部活動の地域移行に係る神奈川県の方針

により説明（矢吹教育総務課長）。

議長： 質疑・意見があればお願いします。

委員： 事務局としては地域移行の方針の素案があるのでしょうか。

事務局： 基本的には県の方針に従うということになりますが、まだ未策定です。

委員： アンケートにも早く移行してほしいという回答があったように、切実な問題だと思います。やるべきことは早くやっていく、例えば、できる部活からやっていくことが必要だと考えます。

大井町のサッカーなどは保護者が入ったりして指導者がかなりいます。例えばそういった指導者を中学校に回してもらうなど、これはすぐにでもできそうだとことから始めていかないといつまでたっても机上の空論で終わってしまうのではないかと思います。小学校でやっているような野球やバスケットボールなど、できるところから始めていくべきと考えます。

部活動は長い歴史があり、それを変えていくのですからすぐにいいものができるとは思えません。何年もかけて方向性を定めなければならないと思います。だから、できる部活から始めて軌道修正していくということが必要であると思います。

委員： それはなかなか難しいと思います。お願いしても中学の部活の指導者としての能力があるのか疑問です。学校としても地域移行についてこういった能力のある方に入ってほしいという意向はあると思います。

今までも経験のない先生が顧問になったということがあり、ほとんど練習には来なかったということも聞いています。個人的には、経験のある方にやってもらった方がいいと考えます。

委員： そういった方をどこから連れてくるのでしょうか。

委員： 具体は今後検討しながらということになると思います。学校からはそういった希望は無いのですか。

委員： 子どもたちからすれば能力のある方に見てほしいというのは当然あると思います。

ただ、どこの中学校も同じだと思いますが、自分で経験したことの無い部活の指導もしているというのが現状で、私も経験のない部活をいくつも担当してきました。専門的な指導をできないという部活もありました。それを考えると、サッカーなど、小学生を見ていただいている方でも十分ではないかと思います。

委員： 特にコーチ能力などは…（求めないということでしょうか）。

委員： もちろんあった方がよいとは思いますが、その種目を知っていて、そこにどれだけの人が関わってくれるかということが大事だと思います。

委員： サッカーの例を出しましたが、FIFA など、体制がピラミッドになっていて（指導は）かなり細かくやっています。怪我防止ということもあると思いますが、そういったことをわきまえた上でということであれば、そういった指導者でも十分できると思います。

事務局： 生涯学習課でも検討している部分でもありますが、教員が土日の大会に引率することはできるけれど、種目ごとに違いはあるようです。教員以外が引率するには資格が必要といったこともありますので、これらを整理したうえで依頼をしなければならないという課題があります。

委員： 私も高体連で関わりましたが、高体連でも大会では、教員免許を持っていないと引率ができないとされていましたが、少しずつ柔軟になってきています。地域移行が進めばもっと柔軟になっていくと思います。

教育長： まさに今、過渡期という中で、今まで中学校で行っていたものをどれだけ地域で担えるかということが一つ話題としてあります。中体連においても競技によって違いはありますが、だいぶ緩和されてきています。

今まで中学校でやっていたものを地域で行っていくということではもっともな疑問や心配、意見ということで整理する必要があると理解します。

もう一点は、生徒も保護者もそうですが、中学校の部活動に何を求めるかというところですね。そこにはいわゆるアスリート育成を求める方もいれば、趣味としての活動を求めるという方もいます。

その違いが先ほどそれぞれの意見として出たものと考えます。アスリート育成としての考え方については、実際には、現在でもクラブチームに所属して活動しているお子さんもいるということをご理解いただきたいと思います。

一方で中学校の部活に参加している子どもが、どこまでを求めていけばいいかというのは非常に難しい問題です。現状では親しみつつ、より高い技術も求めていければというところで考えるべきかと思います。

これは湘光中学校の話ではないですが、小学生の時に少年スポーツとして活動してきた子が、中学での部活の顧問が経験のない方であり、小学校の時に見てくださった方のほうがより技術力が高いということで、保護者がそういった指導者を求めたという話も聞いたことがあります。そういった意味で中学校の部活動指導は大変な苦労があると思いますが、少なくとも今求められているのは休日の部活動を学校から切り離していくにはどうしたらいいのかということです。

生涯学習課で関係している団体なども含め、その受け皿作りをしていかなければと考えますし、できるところから始めるということについてもその方向で取り組んでいかなければならないと認識しているところです。

議長： 他に意見はありますか。

教育長： いずれにしましても今後事務局で詰めていきたいと思ひますし、学校とも協力して進めたいと考えますので、ご協力をいただければと思ひます。引き続きよろしくお願ひいたします。

議長： 他に特に御意見がなければ議事を終了とします。

大井町部活動地域移行推進協議会 出席委員名簿

令和5年11月9日

No.	委員構成	氏名	役職	備考
1	委員	田邊 誠治	大井町スポーツ協会 副会長	会長
2	委員	大川 久子	大井町スポーツ推進委員 委員長	
3	委員	神野 正志	大井町社会教育委員 副議長	
4	委員	藤澤 ケイ子	大井町文化団体連絡協議会 幹事	副会長
6	委員	木村 英行	湘光中学校部活動担当者	
8	委員	夏苺 一壽	教育長	
事務局	教育総務課	矢吹 高広	課長	
		大川 智也	主幹（兼）指導主事 代理出席	
	生涯学習課	有馬 清美	課長	
		植松 芳明	主幹	